



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社共和コーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 和彦  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長兼経理部長 (氏名) 酒井 孝幸 (TEL) 026(227)1301  
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月10日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	8,181	13.8	617	3.1	612	0.0	373	9.9
2024年3月期中間期	7,188	19.8	599	55.9	612	60.6	339	60.4

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 417百万円 (14.7%) 2024年3月期中間期 363百万円 (80.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	62.71	62.38
2024年3月期中間期	57.09	56.93

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	14,142	4,351	30.8
2024年3月期	14,211	3,991	28.1

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 4,351百万円 2024年3月期 3,991百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	10.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,175	10.9	1,291	19.3	1,278	15.1	783	21.0	131.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	6,080,130株	2024年3月期	6,080,130株
2025年3月期中間期	119,267株	2024年3月期	127,267株
2025年3月期中間期	5,953,343株	2024年3月期中間期	5,952,822株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算補足説明資料の有無：有（2024年11月13日に当社ホームページに掲載予定）

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(重要な後発事象の注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社グループは「3つの楽しみ（顧客満足の楽しみ、一生懸命の楽しみ、実践と行動の楽しみ）」の経営理念のもと、お客様と私たち従業員の「楽しみ」創出のために、日々事業活動を推進しております。

当中間連結会計期間におきましては、コロナ禍からの脱却が進み、雇用・所得環境の改善の下景気は緩やかな回復が見られました。そのような状況の中、当社グループの主力事業でありますアミューズメント施設運営事業では、引き続き景品ゲームジャンルが好調を維持しております。ご来店いただくお客様も前年同期と比較して増加しており、店舗はご家族連れのお客様等で賑わいをみせております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は8,181,284千円（前年同中間期比13.8%増）、営業利益は617,889千円（同3.1%増）、経常利益は612,449千円（同0.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は373,337千円（同9.9%増）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、「明るい・安心・三世代」をテーマに、清潔な店舗づくりと丁寧な接客に取り組んでおります。

アミューズメント業界全体における景品ゲーム人気は今なお継続していること、またメダルゲームも好調なことから引き続き各種ゲーム機の増台やバラエティ感溢れる景品の充実に努めております。さらに、人気キャラクターとの写真撮影会など有名IP（Intellectual Property：知的財産）とコラボした景品キャンペーン等の実施や、アピナ公式アプリを活用した情報発信等にも積極的に取り組み、新たなお客様層の取り込みを意識した来店促進施策を継続して実施しております。

出退店につきましては、5月に鳥取県で初出店となる「アピナ米子店」を、9月には四国地方で初出店となる「アピナ善通寺店」を含め計5店舗を新規出店しました。これにより、当中間連結会計期間末での総店舗数は65店舗となっております。

以上の結果、アミューズメント施設運営事業における売上高は7,374,315千円（前年同中間期比14.4%増）、セグメント利益（営業利益）は767,555千円（同17.7%増）となりました。

#### ② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、アミューズメント業界全般で景品ゲームが好調なこともあり、景品の需要が増加しております。景品販売においては、ぬいぐるみやフィギュア、小型家電等、多岐にわたるジャンルが堅調に推移し、さらにスクイーズを使用したオリジナル景品等の販売促進にも積極的に取り組んでおります。一方で、景品ゲーム機の販売においては、入替需要の一巡等もあり販売台数が減少しました。

以上の結果、売上高は260,479千円（前年同中間期比18.3%減）、セグメント利益（営業利益）は89,869千円（同33.0%減）となりました。

#### ③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業や、当社が所有する不動産の賃貸業、並びに子会社である株式会社ブルームの商品販売であります。ブルームの商品販売につきましては、海外及びECサイトでの物販に加え、国内直営店の販売が堅調に推移しております。

以上の結果、売上高は546,490千円（前年同中間期比28.6%増）、セグメント利益（営業利益）は119,878千円（同6.9%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して69,220千円減少し、14,142,400千円となりました。この要因は、流動資産のその他が524,015千円増加したものの、現金及び預金が845,240千円、アミューズメント機器(純額)が189,155千円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して429,026千円減少し、9,791,375千円となりました。この要因は、長期借入金が100,480千円増加したものの、未払金が379,572千円、流動負債のその他が173,195千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して359,805千円増加し、4,351,025千円となりました。この要因は、利益剰余金が313,809千円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,272,321千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は850,908千円(前年同中間期は1,335,994千円の獲得)となりました。これは、減価償却費966,921千円、税金等調整前中間純利益612,494千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,280,014千円(前年同中間期は1,690,707千円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出1,247,394千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は110,865千円(前年同中間期は87,402千円の獲得)となりました。これは、長期借入れによる収入1,000,000千円、長期借入金の返済による支出831,554千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日に開示いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2024年11月13日開示の「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,125,862	4,280,621
売掛金	696,710	690,470
有価証券	200,000	200,000
商品	380,257	249,448
貯蔵品	203,633	194,321
リース投資資産	—	262,951
その他	330,628	854,643
流動資産合計	6,937,091	6,732,457
固定資産		
有形固定資産		
アミューズメント機器(純額)	2,591,178	2,402,023
建物及び構築物(純額)	1,442,080	1,788,113
工具、器具及び備品(純額)	272,181	334,625
土地	933,569	933,787
建設仮勘定	182,488	964
その他(純額)	39,734	35,599
有形固定資産合計	5,461,233	5,495,114
無形固定資産		
その他	42,810	45,375
無形固定資産合計	42,810	45,375
投資その他の資産		
投資有価証券	206,503	269,862
繰延税金資産	19,163	7,175
敷金及び保証金	1,329,013	1,367,684
その他	231,205	240,130
貸倒引当金	△15,402	△15,402
投資その他の資産合計	1,770,484	1,869,452
固定資産合計	7,274,529	7,409,942
資産合計	14,211,621	14,142,400

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,332,661	1,260,542
1年内返済予定の長期借入金	1,555,444	1,623,410
未払金	971,715	592,142
未払法人税等	309,806	257,659
資産除去債務	1,440	5,044
賞与引当金	90,480	100,875
その他	797,574	624,379
流動負債合計	5,059,121	4,464,055
固定負債		
長期借入金	4,542,632	4,643,112
資産除去債務	614,179	651,482
繰延税金負債	—	23,897
その他	4,468	8,828
固定負債合計	5,161,279	5,327,320
負債合計	10,220,401	9,791,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	709,709	709,709
資本剰余金	504,606	503,700
利益剰余金	2,725,982	3,039,791
自己株式	△45,215	△42,373
株主資本合計	3,895,082	4,210,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96,137	140,197
その他の包括利益累計額合計	96,137	140,197
純資産合計	3,991,219	4,351,025
負債純資産合計	14,211,621	14,142,400

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	7,188,575	8,181,284
売上原価	3,353,439	3,814,256
売上総利益	3,835,136	4,367,027
販売費及び一般管理費	3,235,615	3,749,138
営業利益	599,520	617,889
営業外収益		
受取利息	491	1,222
受取配当金	1,427	1,662
太陽光売電収入	4,043	3,885
受取保険金	11,443	—
自販機設置協賛金	2,424	2,908
その他	9,777	3,851
営業外収益合計	29,607	13,530
営業外費用		
支払利息	12,408	15,469
その他	4,434	3,501
営業外費用合計	16,842	18,970
経常利益	612,285	612,449
特別利益		
固定資産売却益	545	45
特別利益合計	545	45
特別損失		
減損損失	57,560	—
特別損失合計	57,560	—
税金等調整前中間純利益	555,271	612,494
法人税、住民税及び事業税	226,749	222,570
法人税等調整額	△11,298	16,585
法人税等合計	215,451	239,156
中間純利益	339,819	373,337
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	339,819	373,337



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	339,819	373,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,939	44,059
その他の包括利益合計	23,939	44,059
中間包括利益	363,758	417,397
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	363,758	417,397
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	555,271	612,494
減価償却費	818,419	966,921
減損損失	57,560	—
受取利息及び受取配当金	△1,918	△2,884
受取保険金	△11,443	—
支払利息	12,408	15,469
有形固定資産売却損益(△は益)	△545	△45
売上債権の増減額(△は増加)	△94,955	10,635
棚卸資産の増減額(△は増加)	418,991	140,120
リース投資資産の増減額(△は増加)	—	△262,951
仕入債務の増減額(△は減少)	△298,405	△146,935
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,301	10,395
未払消費税等の増減額(△は減少)	71,486	△131,327
その他	5,561	△75,461
小計	1,539,731	1,136,431
利息及び配当金の受取額	1,451	1,976
保険金の受取額	11,443	—
利息の支払額	△12,334	△15,192
法人税等の支払額	△204,296	△272,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,335,994	850,908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,591,029	△1,247,394
無形固定資産の取得による支出	△810	△9,005
資産除去債務の履行による支出	△2,682	—
定期預金の預入による支出	△365,500	△377,500
定期預金の払戻による収入	404,500	404,500
敷金及び保証金の差入による支出	△139,280	△51,154
敷金及び保証金の回収による収入	5,063	411
保険積立金の積立による支出	△741	△311
その他	△227	439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,690,707	△1,280,014
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,100,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△959,024	△831,554
配当金の支払額	△53,573	△59,516
ストックオプションの行使による収入	—	1,936
財務活動によるキャッシュ・フロー	87,402	110,865
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△267,309	△318,240
現金及び現金同等物の期首残高	4,144,548	4,590,562
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,877,238	4,272,321

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	62,644	—	62,644	—	62,644	—	62,644
東北	454,222	—	454,222	—	454,222	—	454,222
関東	1,912,694	318,675	2,231,369	348,045	2,579,415	—	2,579,415
甲信越	1,826,477	—	1,826,477	73,177	1,899,654	—	1,899,654
北陸	424,694	—	424,694	—	424,694	—	424,694
東海	1,230,599	—	1,230,599	—	1,230,599	—	1,230,599
近畿	333,641	—	333,641	—	333,641	—	333,641
中国	159,351	—	159,351	—	159,351	—	159,351
その他(注4)	40,665	—	40,665	—	40,665	—	40,665
顧客との契約から生じ る収益	6,444,992	318,675	6,763,667	421,222	7,184,890	—	7,184,890
その他の収益	—	—	—	3,685	3,685	—	3,685
外部顧客への売上高	6,444,992	318,675	6,763,667	424,908	7,188,575	—	7,188,575
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	225	225	2,110	2,335	△2,335	—
計	6,444,992	318,900	6,763,892	427,018	7,190,911	△2,335	7,188,575
セグメント利益	652,014	134,184	786,199	128,828	915,027	△315,506	599,520

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、減損損失57,560千円を計上しております。詳細につきましては、「注記事項(中間連結損益計算書関係)※2」に記載のとおりであります。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	アミューズ メント施設 運営	アミューズ メント機器 販売	計				
売上高							
北海道	69,686	—	69,686	—	69,686	—	69,686
東北	558,702	—	558,702	—	558,702	—	558,702
関東	2,242,909	260,479	2,503,388	382,709	2,886,098	—	2,886,098
甲信越	1,907,812	—	1,907,812	160,539	2,068,351	—	2,068,351
北陸	432,000	—	432,000	—	432,000	—	432,000
東海	1,430,895	—	1,430,895	—	1,430,895	—	1,430,895
近畿	367,505	—	367,505	—	367,505	—	367,505
中国	311,689	—	311,689	—	311,689	—	311,689
四国	17,241	—	17,241	—	17,241	—	17,241
その他(注4)	35,872	—	35,872	—	35,872	—	35,872
顧客との契約から生じ る収益	7,374,315	260,479	7,634,794	543,249	8,178,043	—	8,178,043
その他の収益	—	—	—	3,240	3,240	—	3,240
外部顧客への売上高	7,374,315	260,479	7,634,794	546,490	8,181,284	—	8,181,284
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	1,680	1,680	4,877	6,557	△6,557	—
計	7,374,315	262,159	7,636,474	551,367	8,187,842	△6,557	8,181,284
セグメント利益	767,555	89,869	857,424	119,878	977,303	△359,413	617,889

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業並びに玩具、雑貨等の企画、開発及び販売等を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他」は、各店舗に設置した自動販売機の受取手数料等の金額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。